広報きゃんせ長浜
平成19年12月号

Contents

■特集「平成18年度決算」 2～6P
■ポイ捨て条例（パブコメ） 7P
■シリーズ「道州制と1市6町合併」 8～11P
■民生委員・児童委員 12・13P
■ほっとにゅーす、市長と気楽にトーク 14・15P
■税 16・17P
■個人住宅の建築規制緩和 18P
■除雪、田村駅東駐車場、し尿収集 19P
■固定資産、入札参加資格審査申請 20P
■市営住宅、就職ナビ、工業統計調査 21P
■後期高齢者医療制度、年金 22P
■お元気ですか(音楽で安らぎと温もりを) 23P
■人権週間、人権尊重啓発作品 24P
■ぶんスポちゃんねる、明るい家庭づくり 25P
■インフォメーション 26・27P
■裏表紙 28P

今月の表紙

彦根地方気象台で初氷が観測された11月24日（土）、上草野小学校では恒例の「もちつき大会と草野川の集い」が開催されました。

もちつき大会では、重たい杵を1人で持ち上げ、上手にもちをつく子や、持ち上げるのが精一杯で、先生やお父さん・お母さんに助けてもらってもちつきをしている子もいましたが、どの子も、何度も何度も杵を振り下ろし、普段はできない貴重な体験を楽しんでいました。

また、最近ではあまり見られなくなった杵と臼でのもちつきを体験した子どもたちは、自分でついたおもちがおいしかったのか、いくつもいくつもおかわりをしていました。

全校生徒が88人と市内でも小さな小学校だからできるのかも知れませんが、地域の人の支えと協力がなければ、こういう行事は続かないものです。

子どもたちの教育は、家や学校だけでなく、地域であたたかく見守り支えていくことが大切なのかなと改めて感じさせられたもちつき大会でした。

特集

長浜市財政 平成18年度 決算

長浜市の平成18年度決算がまとまりました。この平成18年度の決算は、新市として最初の通年決算となったものです。みなさんに納めていただいた税金がどのように使われたのか、その概要をお知らせします。

18年度決算の特徴

平成18年度における決算規模は、歳入が約352億円、歳出が約344億円になりました。歳入と歳出の差額から翌年度に繰り越した事業の財源を除いた実質収支は、約6億円の黒字となりました。

しかし、本市の財政状況は、国の三位一体改革や県の財政危機回避のための改革プログラムの影響を受け、基金を1億円取り崩すなど、依然として厳しい状況にあります。

このため、引き続き行財政改革に取り組むとともに、限られた資源を有効活用し、少ない経費で大きな効果を上げるよう、予算の適正執行に努めていきます。

■経常収支比率

※使い道が決まっているお金の割合

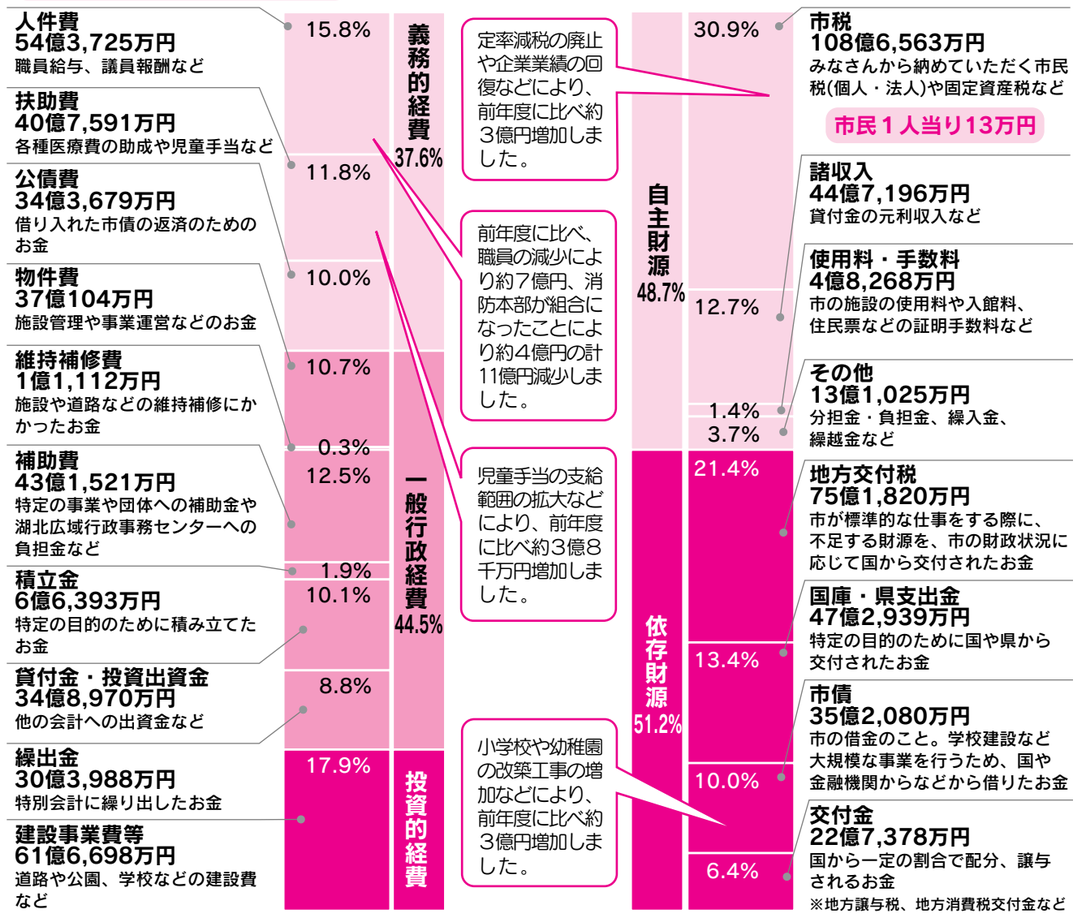
90.6%
（17年度、85.3%）

家計に例えると、給料などの定期的な収入に占める食費や光熱水費といった、常に必要な支出の割合のことです。率が低いほど収入に余裕があることになります。今回の決算では、過去28年間で最悪の数値を示し、予断を許さない深刻な状況です。

18年度 長浜市一般会計

歳出決算額344億3,781万円　　**歳入決算額351億7,270万円**

市民1人当りのサービス41万円



■財政力指数

※自分で自分のことができる力

0.59
（17年度、0.56）

家計に例えると、ごく普通の生活ができるだけの費用を、どれだけ自分で稼げるかを示し、数字が高いほど財政力があります。1を超えると国から普通交付税が交付されません。

■実質公債費比率

※会計に占める借金の割合

15.6%
（17年度、13.4%）

家計に例えると、生活費に占める給料収入等ではまかないきれない費用（借金）の割合を示します。18%以上になると国の許可が必要となり、25%を超えると借金が制限されます。